



手を洗おう



消毒しよう



うがいをしよう



マスクをしよう



換気をしよう



うちで過ごそう

薬剤部部門システム停止について

薬剤部では3月17日(金)に薬剤部部門システム更新を予定しております。システム更新中は、薬剤部部門システムが停止するため、処方・注射すべての処方箋が出力されません。以下の時間に入力された処方については、薬剤部部門システム更新終了後の調剤・払出となります。従いまして、この時間帯に必要な薬剤の処方は、手書き処方箋での対応をお願いいたします。システム更新前までの入力にご協力ください。

混乱を避けるため、可能な限り3月17日(金)17:00までにオーダーしておいてください。
早め早めの入力をお願いします。

処方オーダーによる処方箋出力停止日時

3月17日(金) 20:00 ~ 3月18日(土) 12:00(昼)

※一包化は上記の時間対応できません。散剤の分包紙への印字もできません。

注射オーダーによる処方箋出力停止日時

3月17日(金) 20:00 ~ 21:00

禁忌追加のお知らせ

※追加部抜粋

◎アミオダロン塩酸塩速崩錠100 mg「TE」、同静注150 mg「TE」(一般名:アミオダロン塩酸塩) <不整脈治療剤>

【禁忌】ニルマトレルビル・リトナビルを投与中の患者

◎エドルミズ錠 50 mg(一般名:アナモレリン塩酸塩) <グレリン様作用がん悪液質治療剤>

【禁忌】エンシトレルビル フマル酸を投与中の患者

◎ホストイン静注 750 mg(一般名:ホスフェニトインナトリウム) <抗けいれん剤>

【禁忌】ニルマトレルビル・リトナビルを投与中の患者

禁忌削除のお知らせ

※削除部抜粋

◎エドルミズ錠 50 mg(一般名:アナモレリン塩酸塩) <グレリン様作用がん悪液質治療剤>

【禁忌】インジナビル、ネルフィナビル、サキナビル、テラプレビルを投与中の患者 ※販売中止のため

◎ホストイン静注 750 mg(一般名:ホスフェニトインナトリウム) <抗けいれん剤>

【禁忌】アスナプレビル、ダクラタスビル、リルピピリン・テノホビル ジソプロキシル・エムトリシタビンを投与中の患者 ※販売中止のため

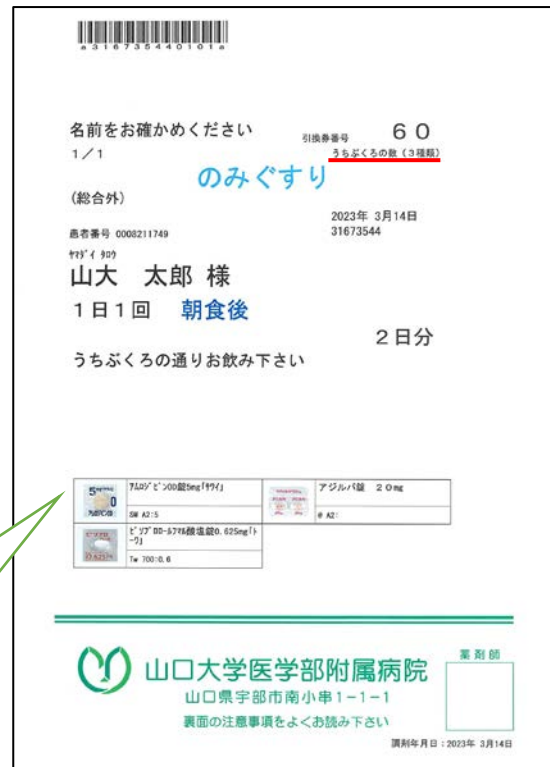
薬剤部門システム更新に伴う変更について

1. 内服薬の薬袋表記が変わります。

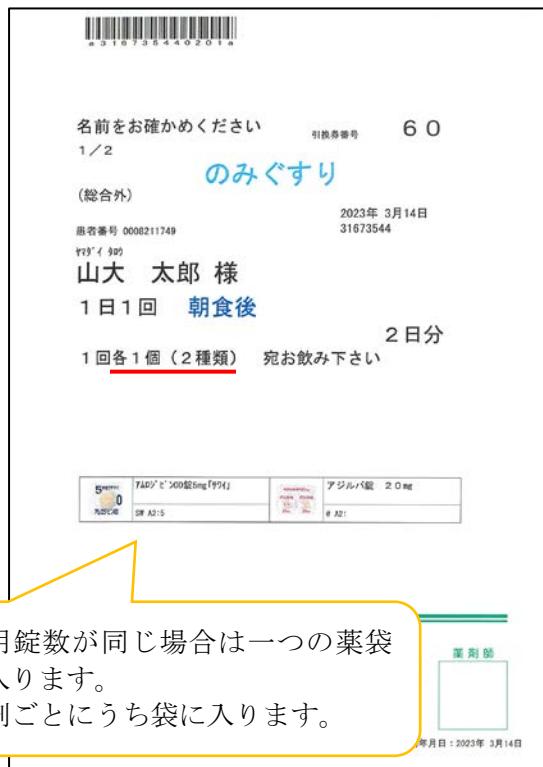
旧：同じRpに複数薬剤が処方された場合、うち袋を使用して薬剤ごとにわけ、1回服用量をうち袋に表記していました。

2023/03/14(火)	
【プログレスノート】 2023/03/14(火) 18:39 総合外 外来	
01版: 2023/03/14(火) 18:45 医師)薬剤部 テスト用	自費1本
作成: 2023/03/14(火) 18:45 作成者: 医師)薬剤部 テスト用	
○【院内処方】 2023/03/14(火) 総合外 外来	
依頼 01版: 2023/03/14(火) 18:45 医師)薬剤部 テスト用	自費1本
作成: 2023/03/14(火) 18:45 作成者: 医師)薬剤部 テスト用	
31673544	
1 アムロジピンOD錠5mg「サワイ」	1 錠
1回1錠(1日1錠)	
アジルバ錠 20mg	1 錠
1回1錠(1日1錠)	
ビソプロロール fumarate 錠0.625mg「トーフ」	2 錠
1回2錠(1日2錠)	
1日1回 朝食後 2日分	
【服用開始日:2023/03/14(火)】	

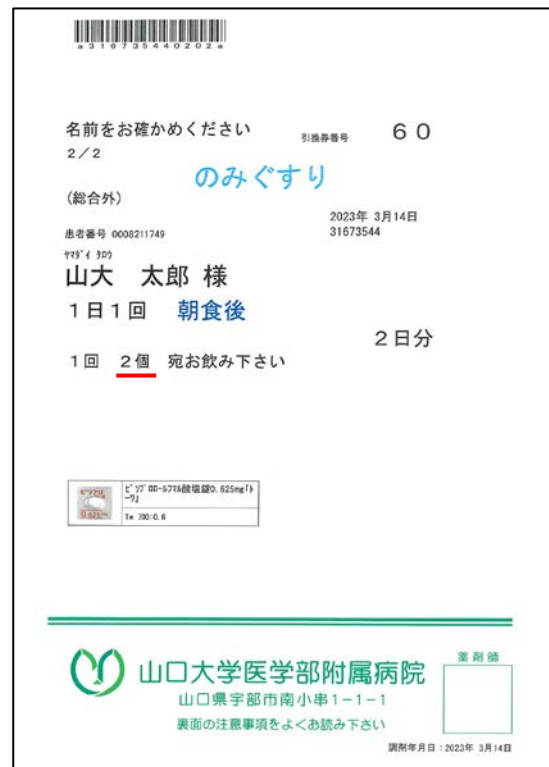
1回服用量に関係なく、同じRp内の薬剤は一つの薬袋に入っていました。服用錠数は薬袋の中のうち袋を確認する必要がありました。



新：1回服用量ごとに薬袋が分かります。



服用錠数が同じ場合は一つの薬袋に入ります。薬剤ごとにうち袋に入ります。



2. 麻薬処方箋にバーコードが追加になります。

入院麻薬注射箋、外来麻薬注射箋、麻薬入院処方箋、麻薬退院処方箋、麻薬外来処方箋（麻薬院外処方箋を除く）の備考欄にバーコードが印字されます。薬剤部での管理のために使用しますので、病棟での取扱いについての変更はありません。

『カルボシステイン錠 250 mg「サワイ」』の入荷状況について

気道粘液調整・粘膜正常化剤『カルボシステイン錠 250 mg「サワイ」』につきまして、他社製品の出荷制限や、新型コロナウイルス感染症の影響等、複合的な要因による需要の増加から、全国的に安定供給が厳しい状況となっております。当院におきましても例外ではなく、厳しい入荷状況が継続しており、一時的に欠品が生じる可能性も出てきました。

そのため、本剤の漫然とした使用を避け、必要最小限の処方をお願いします。状況により、院内処方オーダーを停止せざるを得なくなりますので、ご協力よろしくをお願いします。

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

「アネレム静注用 50 mg」自主回収のお知らせ

全身麻酔剤「アネレム静注用 50 mg」につきまして、バイアルラベル及び個装箱の表示に薬機法に基づく「注意－習慣性あり」が記載されていないことが判明したことから、該当ロットが自主回収となりました。

当院において対象ロットの製品はすでに使用済みですが、本件に起因すると考えられる有効性の欠如、及び副作用発現の報告はありません。

『オキシブプロカイン塩酸塩点眼液 0.4%「ニットー」』 オーダー一時停止のお知らせ

眼科用表面麻酔剤『オキシブプロカイン塩酸塩点眼液 0.4%「ニットー」』(5 mL)につきまして、使用する原材料の調達が困難な状況となっており、原材料の確保ができるまで製品の供給が一時停止となりました。その為、当院在庫も無くなったことから、3月3日より処方オーダーを一時停止しました。

なお、当該薬剤の代替薬として、3月3日より『ベノキシール点眼液 0.4%』(5 mL)がオーダー開始となりました。

効能・効果削除のお知らせ

※削除部抜粋

◎ウログラフィン注60%20 mL、100 mL(一般名:アミドトリゾ酸)〈直接膵管胆道・唾液腺造影剤〉

【削除された効能・効果】逆行性尿路撮影、関節撮影

効能・効果、用法・用量追加等のお知らせ

※追加・改訂部抜粋

◎イムブルピカカプセル140 mg(一般名:イブルチニブ)＜抗悪性腫瘍剤(ブルトン型チロシンキナーゼ阻害剤)＞

※臨時採用医薬品

【効能・効果】 マントル細胞リンパ腫 (※未治療に対し適応拡大)

【用法・用量】 <未治療の場合>

ベンダムスチン塩酸塩及びリツキシマブ (遺伝子組換え) との併用において、通常、成人にはイブルチニブとして 560 mg を 1 日 1 回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。

◎エバシールド筋注セット(一般名:チキサゲピマブ(遺伝子組換え)・シルガピマブ(遺伝子組換え))

＜抗SARS-CoV-2モノクローナル抗体＞※特例承認医薬品

【用法及び用量に関連する注意】 <SARS-CoV-2による感染症の発症抑制>

本剤を 2 回目以降繰り返し投与する場合は、前回の投与から 6 カ月は間隔をあけること。なお、得られている臨床成績は10~14カ月後に再投与された成績である。

◎プレセデックス静注液200 µg/50 mLシリンジ「ファイザー」(一般名:デクスメドミジン塩酸塩)＜ α_2 作動性鎮静剤＞

【効能・効果】 小児の非挿管での非侵襲的な処置及び検査時の鎮静

【用法・用量】 通常、2 歳以上の小児には、デクスメドミジンを12 µg/kg/時の投与速度で10分間静脈内へ持続注入し (初期負荷投与)、続いて維持量として 1.5 µg/kg/時で持続注入する (維持投与)。

通常、1 カ月以上 2 歳未満の小児には、デクスメドミジンを 9 µg/kg/時の投与速度で 10 分間静脈内へ持続注入し (初期負荷投与)、続いて維持量として 1.5 µg/kg/時で持続注入する (維持投与)。

なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

◎スプレキュア点鼻 0.15%(一般名:ブセレリン酢酸塩)＜GnRH 誘導体制剤＞

◎生食注シリンジ「オーツカ」20 mL(一般名:塩化ナトリウム)＜生理食塩液＞

◎ミノサイクリン塩酸塩錠 50 mg「日医工」(一般名:ミノサイクリン塩酸塩)＜テトラサイクリン系抗生物質＞

出荷量：D. 出荷停止

◎ドキシル注 20 mg(一般名:ドキシソルピシン塩酸塩)＜抗悪性腫瘍剤＞

出荷量：B. 出荷量減少

製造販売業者の対応状況：②限定出荷 (自社の事情)

◎ピトレシン注射液 20(一般名:バソプレシン)＜脳下垂体後葉ホルモン剤＞

出荷量：B. 出荷量減少

製造販売業者の対応状況：③限定出荷 (他社品の影響)

◎ロイコボリン注 3 mg(一般名:ホリナートカルシウム水和物)＜抗葉酸代謝拮抗剤＞

出荷量：A. 出荷量通常

製造販売業者の対応状況：②限定出荷 (自社の事情)

◎オペガン 0.6 眼粘弾剤 1%(一般名:精製ヒアルロン酸ナトリウム)＜眼科手術補助剤＞

◎ヒアルロン酸 Na0.6 眼粘弾剤 1%HV「センジュ」(一般名:精製ヒアルロン酸ナトリウム)＜眼科手術補助剤＞

◎シェルガン 0.5 眼粘弾剤(一般名:精製ヒアルロン酸ナトリウム、コンドロイチン硫酸エステルナトリウム)

＜眼科手術補助剤＞

出荷量：A. 出荷量通常

製造販売業者の対応状況：③限定出荷 (他社品の影響)

【参考情報】 日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』 DI-EXPRESS (2022. 7) の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

販売中止のお知らせ

◎デキストロメトर्फアン臭化水素酸塩散 10%「日医工」(一般名:デキストロメトर्फアン臭化水素酸塩)〈鎮咳剤〉

◎テモカプリル塩酸塩錠 2 mg「日医工」(一般名:テモカプリル塩酸塩)〈胆汁・腎排泄型 ACE 阻害剤〉

販売中止予定時期: 現在出荷停止中 経過措置期間満了日: 2024 年 3 月 31 日 (予定)

◎シスプラチン注 50 mg「日医工」(一般名:シスプラチン)〈抗悪性腫瘍剤〉

◎ダイメジンスリービー配合カプセル 25(一般名:ベンフォチアミン、ピリドキシン塩酸塩、シアノコバラミン)

〈複合ビタミン B 製剤〉

◎スクラルファート内用液 10%「日医工」(一般名:スクラルファート水和物)〈胃炎・消化性潰瘍治療剤〉

◎テオフィリン徐放錠 200 mg「日医工」(一般名:テオフィリン)〈キサンチン系気管支拡張剤〉

◎モサプリドクエン酸塩錠 5 mg「EE」(一般名:モサプリドクエン酸塩)〈消化管運動機能改善剤〉

販売中止予定時期: 2023 年 4 月 経過措置期間満了日: 2024 年 3 月 31 日 (予定)

◎シスプラチン注 10 mg「日医工」(一般名:シスプラチン)〈抗悪性腫瘍剤〉

販売中止予定時期: 2023 年 5 月 経過措置期間満了日: 2024 年 3 月 31 日 (予定)

◎ジピリダモール錠 25 mg「日医工」(一般名:ジピリダモール)〈冠循環改善剤・抗血小板剤〉

販売中止予定時期: 2023 年 9 月 経過措置期間満了日: 2024 年 3 月 31 日 (予定)

◎ベンティビス吸入液 10 µg(一般名:イロprost)

〈肺動脈性肺高血圧症治療剤(プロスタグランジン I2 誘導体)〉※臨時採用医薬品

販売中止予定時期: 2023 年 12 月 経過措置期間満了日: 2024 年 3 月 31 日 (予定)

◎ピソルボン注 4 mg(一般名:ブロムヘキシソルボン塩酸塩)〈気道粘液溶解剤〉

販売中止予定時期: 2024 年 12 月 経過措置期間満了日: 2025 年 3 月 31 日 (予定)

適正使用のお願い

◎ランマーク皮下注 120 mg(一般名:デノスマブ(遺伝子組換え))〈ヒト型抗 RANKL モノクローナル抗体製剤〉

—重篤な低カルシウム血症の予防のために—

本剤の投与により、重篤な低カルシウム血症があらわれることがあり、2012 年 9 月に安全性速報 (ブルーレター) による情報提供が行われました。本剤の使用にあたり、重篤な低カルシウム血症の予防のため、以下の事項に十分にご留意ください。

○投与前及び投与後頻回に血清カルシウムを測定してください。

本剤による治療開始前には、血清カルシウム等の電解質濃度を測定してください。血清補正カルシウム値*を確認し、低カルシウム血症が認められた場合には、是正を行ってから開始してください。また、低カルシウム血症は、治療開始後数日からあらわれることがあります。本剤投与後は、頻回に血清カルシウム等の電解質濃度を測定するとともに、患者の状態に十分注意してください。

○カルシウム及びビタミン D の経口補充のもとに本剤を投与してください。

本剤による重篤な低カルシウム血症の発現を軽減するため、血清補正カルシウム値が高値でない限り、毎日少なくともカルシウムとして 500 mg 及び天然型ビタミン D として 400 IU の投与を行ってください。ただし、腎機能障害患者では、ビタミン D の活性化が障害されているため、腎機能障害の程度に応じ、ビタミン D については活性型ビタミン D を使用するとともに、カルシウムについては投与の必要性を判断し、投与量を適宜調整してください。

○重度の腎機能障害患者では低カルシウム血症を起こすおそれが高いため、慎重に投与してください。

○低カルシウム血症が認められた場合には、カルシウム及びビタミン D の経口投与に加えて、緊急を要する場合には、カルシウムの点滴投与を併用する等、適切な処置を速やかに行ってください。

*低アルブミン血症の患者では、見かけ上のカルシウム値が低値になるため、血清アルブミンが 4.0 g/dL 未満の場合、以下の式により補正した値を用いてください。

補正カルシウム値 (mg/dL) = 血清カルシウム値 (mg/dL) + 4 - 血清アルブミン値 (g/dL)

適正使用のお願い

◎タリージェ錠 2.5 mg、5 mg、10 mg(一般名:ミロガバリンベシル酸塩) <神経障害性疼痛治療剤>

※2.5 mg、10 mg は院外専用医薬品

—腎機能低下患者/ めまい・傾眠・意識消失に関する注意—

●腎機能が低下している患者への投与について

本剤は腎排泄型の薬剤のため、腎機能が低下している患者では、血漿中濃度が高くなり副作用が発現しやすくなるおそれがあります。

特定使用成績調査において、血液透析患者を含む末期腎不全患者で、めまい・傾眠関連の副作用の発現割合が高い傾向が認められました。処方にあたっては、患者さんの腎機能の程度や血液透析の有無をご確認のうえ、下記の表を参考に投与量、投与間隔を調節し、患者さんに副作用の発現に注意するようご指導をお願いします。

○腎機能障害のある患者に投与する際には、クレアチニンクリアランス値を参考に投与量、投与間隔を調整してください。

○高齢者では腎機能が低下していることが多いため、クレアチニンクリアランス値を参考に投与量、投与間隔を調整するなど慎重に投与してください。

		腎機能障害の程度 (CLcr : mL/min)		
		軽度 (90 > CLcr ≥ 60)	中等度 (60 > CLcr ≥ 30)	重度 (血液透析患者を含む) (30 > CLcr)
1日投与量		10~30 mg	5~15 mg	2.5~7.5 mg
初期用量		1回 5 mg 1日 2回	1回 2.5 mg 1日 2回	1回 2.5 mg 1日 1回
有効用量	最低用量	1回 10 mg 1日 2回	1回 5 mg 1日 2回	1回 5 mg 1日 1回
	推奨用量	1回 15 mg 1日 2回	1回 7.5 mg 1日 2回	1回 7.5 mg 1日 1回

●めまい、傾眠、意識消失による転倒や骨折、事故等について

本剤服用中に発現しためまい、傾眠、意識消失による転倒や骨折、事故等が報告されています。

本剤服用にあたっては、以下の点に十分注意して、患者さんへのご指導をお願いします。

○めまい、傾眠、まれに意識消失などが起こることがありますので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作をしないようにご指導ください。

○特に高齢の方は転倒し骨折などを起こすおそれがあるため、十分に注意するようご指導ください。

○異常が認められた場合は、投与を中止又は減量するなどの適切な処置を行ってください。

使用期限等変更のお知らせ

◎D-ソルビトール経口液75%「コーワ」(一般名:D-ソルビトール) <X線造影促進・栄養補給剤>

【使用期限】 変更前: 5年 → 変更後: 3年

◎コレクテム軟膏0.5%、0.25%(一般名:デルゴシチニブ)

<アトピー性皮膚炎治療剤(外用ヤヌスキナーゼ阻害剤)> ※院外専用医薬品

【有効期間】 変更前: 36箇月 → 変更後: 24箇月

★カルシウム拮抗薬2剤(アムロジピンベシル酸塩及びニフェジピン)の「使用上の注意」の改訂について

平成17年に厚生労働省により国立成育医療研究センター内に「妊娠と薬情報センター」(以下「センター」という。)が設置され、医薬品が母体や胎児に与える影響について最新のエビデンスを収集・評価し、それに基づいて、妊婦あるいは妊娠を希望している女性の相談に応じる業務を実施してきた。

また、平成28年度からはこれまでにセンターに集積された情報の整理・評価を行い、妊産婦等への医薬品投与に関する情報の添付文書への反映を推進する取組を行っている。本取組では、専門家が参加するワーキンググループを設置し、候補医薬品を選定のうえ、これまでの集積情報の整理・評価を行い、当該医薬品の添付文書の改訂案を報告書として取りまとめることとしている。

今般、カルシウム拮抗薬であるアムロジピンベシル酸塩及びニフェジピンについて、薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会における審議を踏まえ、禁忌等に係る記載について見直しを行ったので、その内容を紹介する。

★ヒドロキシエチルデンプンの「使用上の注意」の改訂について

ヒドロキシエチルデンプン70000、ヒドロキシエチルデンプン配合剤(以下「HES70」という。)及びヒドロキシエチルデンプン130000(以下「HES130」という。)は、膠質浸透圧作用に基づく血漿増量作用をもつ血液代用剤であり、HES70は「各科領域における出血多量の場合」及び「体外循環における血液希釈液」を効能・効果として、HES130は「循環血液量の維持」を効能・効果として本邦で製造販売承認されている。

今般、令和4年12月27日に開催された令和4年度第22回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会における審議等を踏まえ、HES70及びHES130の禁忌に「重症の敗血症の患者」の追加等を行う「使用上の注意」の改訂を行ったので、その内容を紹介する。

★甲状腺機能低下症に係る添付文書改訂と副作用報告に関するお願い

「腎性貧血」を効能又は効果とするロキサデュスタットは、「8.重要な基本的注意」及び「11.1重大な副作用」の項に「中枢性甲状腺機能低下症」に関する注意を追記する必要があると考え、令和4年11月16日に使用上の注意の改訂を指示した。つきまして、甲状腺機能低下症についてと甲状腺機能低下症の副作用報告に関するお願いについてを紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂(追加)したので内容を紹介する。

◎アセトアミノフェン含有製剤(商品名:①カロナール錠200 mg、500 mg、細粒20%、②アセトアミノフェン坐剤小児用100 mg、200 mg「シオエ」、③アセリオ静注液1000 mg/バッグ、④SG配合顆粒、⑤トアラセット配合錠「マルイシ」、⑥ピーエィ配合錠)〈解熱鎮痛消炎剤〉 ※④は臨時採用医薬品

【副作用】 薬剤性過敏症症候群

【重大な副作用】 初期症状として発疹、発熱がみられ、更に肝機能障害、リンパ節腫脹、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現等を伴う遅発性の重篤な過敏症状があらわれることがある。なお、ヒトヘルペスウイルス6(HHV-6)等のウイルスの再活性化を伴うことが多く、投与中止後も発疹、発熱、肝機能障害等の症状が再燃あるいは遷延化することがあるので注意すること。

※当該症例 6例(うち死亡0例)

アセトアミノフェン含有一般用医薬品でも1例(うち死亡0例)

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例で因果関係が否定できないもの。

◎クロピドグレル硫酸塩含有製剤(商品名:プラビックス錠25 mg、クロピドグレル錠75 mg「サワイ」)〈抗血小板剤〉

【副作用】 インスリン自己免疫症候群

【重大な副作用】 重度の低血糖を引き起こすことがある。

※当該症例 8例(うち死亡0例)

当院非採用の配合錠で0例

※医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例で因果関係が否定できないもの。

☆Drug Safety Update No.315 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
エキセチド [®] （ハ [®] イェッタ皮下注 [®] ）※院外専用医薬品 セマグルチド [®] （遺伝子組換え）（オゼンビ [®] ック皮下注、リベルサス錠） デュラグルチド [®] （遺伝子組換え）（トルシティ皮下注アテオス） リキシセチド [®] （リクシミア皮下注）※院外専用医薬品 リラグルチド [®] （遺伝子組換え）（ビクトーザ [®] 皮下注） インスリン [®] ラルギン（遺伝子組換え）・リラグルチド [®] （遺伝子組換え）（ソリア配合注ソスター） インスリン [®] テ [®] グ [®] ルテ [®] ク（遺伝子組換え）・リラグルチド [®] （遺伝子組換え）（ソルトファイ配合注フレックスタッチ）	※重要な基本的注意：追記 <u>胆石症、胆嚢炎、胆管炎又は胆汁うっ滞性黄疸が発現するおそれがあるので、腹痛等の腹部症状がみられた場合には、必要に応じて画像検査等による原因精査を考慮するなど、適切に対応すること。</u> ※重大な副作用：追記 <u>胆嚢炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸</u>
タゾバ [®] クタム・ヒ [®] ペ [®] ラシリン水和物（ソ [®] シン静注用）	※重大な副作用：追記 <u>血球貪食性リンパ[®] 組織球症（血球貪食症候群）：</u> <u>発熱、発疹、神経症状、脾腫、リンパ[®] 節腫脹、血球減少、LDH 上昇、高フェリチン血症、高トリグリセリド血症、肝機能障害、血液凝固障害等の異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。</u>